

会議名	第2回学校運営協議会 議事録	
場 所	大阪府立すながわ高等支援学校4階 校長室	
日 時	令和5年11月21日(火) 10:00~12:00	
目 的	学校運営協議会は、保護者等との連携協力、学校運営の方針についての協議及び承認、保護者等の意向の反映のために設置する、大阪府教育庁の附属機関である。	
次 第	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 校長挨拶</li> <li>(2) 授業見学 10:00~10:30</li> <li>(3) 協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度学校経営計画の進捗について</li> <li>・本校におけるICT環境</li> <li>・進路だより3号</li> <li>・令和5年就労に関するアンケート、たより、安安アンケート</li> <li>・人権教育について(同和問題)</li> <li>・令和5年度すながわ高等支援学校広報活動 すながわ高等支援学校見学セミナー2回、進学フェア、高等支援研修会、中学校訪問、オープンスクール、個別相談会、学校説明会</li> </ul> </li> <li>(4) 報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度授業アンケートの様式について</li> <li>・令和5年度学校教育自己診断の様式について</li> <li>・令和6年度教科書選定</li> </ul> </li> <li>(5) 意見交換 まとめ</li> <li>(6) 校長挨拶</li> </ul>	
学校運営協議会	会 長 四天王寺大学教育学部教育学科教授 副会長 株式会社カネシン オートボックス 委 員 泉州中障害者就業・生活支援センター 委 員 株式会社サクセス 自立支援推進室長 委 員 泉南市 総合政策部 危機管理課 委 員 すながわ高等支援学校PTA会長 校 長 すながわ高等支援学校長 すながわ高等支援学校事務局	土口 千恵子 様 辻 昭宏 様 斉喜 祐輔 様 河本 妙子 様 宮本 剛 様 阿曾沼 友子 様 白井 公仁 9名

## 会議内容

要約 令和5年度学校経営計画の進捗状況について事務局より報告があり、意見交換がなされた。本校の取組みを理解し、頑張ることができる生徒に入学してもらえるように、どんな発信をすればよいか協議した。

### 協議テーマについてのご質問・ご意見

- 学校経営計画の進捗状況について、本校におけるICT環境は、視覚的に有効なツールとして理解と知識の定着を図るために、各教室の短焦点プロジェクターやタブレット端末、一人一台端末を有効に活用している。画面でのコミュニケーションだけでなく、書く活動も非常に重要であり、人前で発表したり対話をすることも大切であると報告した。働くために必要な力を会社の方に質問した際に「コミュニケーション」と回答があった。工場などのライン作業もコミュニケーションが大切だと話題にあがった。
- 進路だより3号では、「初めての給料の使い道」や「職場で注意されたこと」について同窓会に参加した卒業生からの回答を載せている。生徒のモチベーションにつながると良いと考えている。
- 就労に関するアンケートより、「職場定着支援について会社から協力を求めた機関があれば教えてほしい」との設問に対し、「どこからの協力も受けていない」との回答が非常に多く、どこに相談したらいいのかわからない企業が多いことがわかった。困った時に会社や本人が障害者就業・生活支援センターへ相談できるように連携し、引継ぎを強化したい。また、十分に働く力を付けてから社会に出る必要があると再確認した。
- アフターケアについては委員より「集中支援の時期に卒業生からどのような内容の連絡が多いのか」という質問があった。仕事は決められたことをするのでできることが多いが、休憩時間の過ごし方や昼食のとり方などに課題があり、会社や本人から学校に連絡があるケースもあると進路から説明をした。声を掛けられるまで待っているのではなく、在学中に自分から発信できる力を付けていく必要があることを共有した。
- いじめ人権対策委員会の取組みについては、普段から担任が一人ひとりをよく観察しており、小さなトラブルを未然に防ぐことができている。また、人権の授業も3年間通しておこなっている。アンケートの結果は「こんなことをされたら嫌だ」「過去にこんなことをされた」など、現在のことではない回答があったため、回答した生徒には個別に聞き取り等の対応をおこなった。
- 令和5年度すながわ高等支援学校広報活動については、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていなかった「すながわ高等支援学校展」を今年度本校で実施する。オープンスクールも学校見学会にも来校してくれた中学生が更に申し込みをしてくれており、本校の魅力が伝わる良い取り組みとなるようにしたい。また卒業生から「やりがい」や「I love sunagawa」などの意見をもらい、卒業生がどのように仕事に取り組んでいるか、仕事とプライベートの充実のためにどのような工夫があるか等、写真付きで答えているポスター展示を委員の方々にもご覧いただいた。卒業後のイメージが持ちやすい非常に良い取組みだと評価していただいた。
- 令和6年度教科書選定については、せいかつサービス科の教科書を新しく選定した（生活と福祉）。電子教科書については、卒業後リセットされることで手元に残らないため使用することは考えていないと報告した。

次回開催日 令和6年1月予定

作成者 大阪府立すながわ高等支援学校 指導教諭 吉本 早織（令和5年11月21日作成）